

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：3 単位
 対象学年組：第1学年 A組～組
 教科担当者：（A組：澤本）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）
 使用教科書：（『高等学校 新編現代の国語』（第一学習社））

- 教科 国語 の目標：
- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
 - 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書読					
A単元 新しい出会い 【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴をふまえ、表現上の工夫を理解する。常用漢字の基本的な読み書きを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 実体験を踏まえて提示された「未知」に対する筆者の捉え方を理解し、自分に照らして考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を通して、他者の価値観に触れ、自分の考えを深める。	・「未知はいくらでもある」（宮内悠介） ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○	○	【知識及び技能】 話し言葉と書き言葉の特徴を理解している。常用漢字の基本的な読み書きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 実体験を踏まえて提示された「未知」に対する筆者の捉え方を理解し、自分に照らして考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の読解を通して、他者の価値観を理解し、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	7
B単元 人間の風景 【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 人生の岐路となった筆者の旅を追体験することにより、世界にはさまざまな出会いがあることを知る。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を通して、他者の価値観に触れ、自分の考えを深める。	・「十六歳のとき」（星野道夫） ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○	○	【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解している。語句の量を増やし、語彙を豊かにしていくことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 人生の岐路となった筆者の旅を追体験することにより、世界にはさまざまな出会いがあることを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の読解を通して、他者の価値観を理解し、自分の考えを深めようとしている。	○	○	○	9
C単元 言葉が開く世界 【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 音声と意味との関係から、言語一般およびオノマトベの機能的特徴を理解し、音としての言葉への興味を広げる。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の読解を通して、日本語の特徴について分析し、言語に対する関心を高める。	・「言葉の海のオノマトベ」（清水由美） ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○	○	【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解している。語句の量を増やし、語彙を豊かにしていくことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 音声と意味との関係から、言語一般およびオノマトベの機能的特徴を理解し、日本語の特徴について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の読解を通して、日本語の特徴について分析し、言語に対する関心を高めようとしている。	○	○	○	9
定期考査					○	○		1
D単元 言葉が開く世界 【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の読解を通して、記号と言語の特徴について分析し、多様な表現に対する関心を高める。	・「言語としてのピクトグラム」（本田弘之） ・教科書、授業プリント ・一人一台端末の活用	○	○	【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解している。語句の量を増やし、語彙を豊かにしていくことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の読解を通して、記号と言語の特徴について分析し、多様な表現について調べたり考えようとしている。	○	○	○	9
E単元 話して伝える 【知識及び技能】 相手により伝わりやすい表現方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って調べたり話し合ったりする力をつける。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って調べたり、説明や発表したりする姿勢を育む。	・「話し方の工夫」 ・教科書、授業プリント ・一人一台端末の活用	○	○	【知識及び技能】 相手により伝わりやすい表現方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って調べたり、説明や発表したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に伝わりやすい表現を考え、学習課題に沿って調べたり、説明や発表したりしようとしている。	○	○	○	9
定期考査					○	○		1

2 学 期	F単元 新しい出会い 【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解する。評論文のテクニック(具体例)を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者がナマケモノから学んだことを理解し、「ナマケモノになる」ことの意味について考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の読解を通して、主題に対して自分の考えを持とうとする姿勢を育む。	・「ナマケモノになる」(辻信一) ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○ ○	【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解している。評論文のテクニック(具体例の効果)について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者がナマケモノから学んだことを理解し、「ナマケモノになる」ことの意味について考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の読解をふまえて、主題に対して自分の意見を考えたり表現しようとしている。	○ ○ ○	9
	G単元 人間の風景 【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 他者との関わりを通して自身の人生や生き方を省みる筆者の姿に触れ、自分自身の生き方について考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文章を通して、他者の価値観に触れ、自分の考えを深める。	・「臆病な詩人、街へ出る」(文月悠光) ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○ ○	【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 他者との関わりを通して自身の人生や生き方を省みる筆者の姿に触れ、自分自身の生き方について考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の読解を通して、他者の価値観を理解し、自分の考えを深めようとしている。	○ ○ ○	9
	定期考査					1
	H単元 社会と人間 【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深める。内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の読解を通して、主題に対して自分の考えをもとうとする姿勢を育む。	・「『弱いロボット』の誕生」 ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○ ○	【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「弱いロボット」の開発意図を理解し、人との間に生まれた関係性について考えを深める。内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の読解をふまえて、主題に対して自分の考えを示す力をつけようとしている。	○ ○ ○	9
	I単元 社会と人間 【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 本文で使われている「バス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 他者の価値観に触れ、仕事や生き方についての自己の考えを深める。	・「人はなぜ仕事をするのか」(内田樹) ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○ ○	【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 本文で使われている「バス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 他者の価値観に触れ、仕事や生き方についての自己の考えを深めようとしている。	○ ○ ○	9
J単元 話して伝える 【思考力、判断力、表現力等】 自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。	・「スピーチで自分を伝える」 ・教科書、授業プリント ・一人一台端末の活用	○ ○	【思考力、判断力、表現力等】 自分の意見を大勢の聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで材料を集めたり吟味したりし、今までの学習を生かしてスピーチを行おうとしている。	○ ○ ○	8	
定期考査					1	
3 学 期	J単元 現代と社会 【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の読解を通して、主題に対して自分の考えをもとうとする姿勢を育む。	・「イースター島になぜ森がないのか」(鷲谷いづみ) ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○ ○	【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の読解をふまえて、主題に対して自分の考えをもとうとしている。	○ ○ ○	8
	J単元 現代と社会 【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解する。語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 【思考力、判断力、表現力等】 材料科学の革新が人類の進歩に大きく貢献したことを理解し、本文に示された未来像について関心を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の読解を通して、主題に対して自分の考えをもとうとする姿勢を育む。	・「『材料科学』のゆくえ」(佐藤健太郎) ・教科書、授業プリント ・ICT機器の活用	○ ○	【知識及び技能】 常用漢字の基本的な読み書きを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 材料科学の革新が人類の進歩に大きく貢献したことを理解し、本文に示された未来像について関心を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 文章の読解をふまえて、主題に対して自分の考えをもとうとしている。	○ ○ ○	9
	K単元 生活の中の表現 【知識及び技能】 情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたを理解し、活用する。 【思考力、判断力、表現力等】 改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめる。 【学びに向かう力、人間性等】 異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとする姿勢を育成する。	・「法律の改正に関わる文章を読み比べる」 ・教科書、授業プリント ・一人一台端末の活用	○ ○	【知識及び技能】 情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたを理解し、活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 改正前後の法律文を読み比べて必要な情報を読み取り、複数の文章を関連づけながら理解したことをまとめている。 【学びに向かう力、人間性等】 異なる形式で書かれた複数の文章を粘り強く読み、理解したことを学習課題に沿ってまとめようとしている。	○ ○ ○	8
	定期考査					1
						合計
						117

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：単位
 対象学年組：第1学年 A組～組
 教科担当者：（A組：角皆）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）
 使用教科書：（科学と人間生活 啓林館）

教科 理科 の目標：
 【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付け、
 【思考力、判断力、表現力等】自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、結果を分析して解釈し表現し、
 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
主に地学的・物理的な事物・現象についての概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付ける。	主に地学的・物理的な事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察・実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究する力を養う。	主に地学的・物理的な事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	宇宙の構造と誕生 【知】宇宙の構造と誕生を理解し知識を身に付ける。 【思】図を用いて宇宙の構造と誕生を説明できる。 【態】宇宙の構造と誕生に関心を持ち意欲的に探究する。	・宇宙の探究の歴史、ビッグバンや元素の誕生、恒星や銀河と銀河系の構造、宇宙の大規模構造 ・授業プリントと教科書 ・ICTの活用	【知】宇宙の構造と誕生を理解し知識を身に付けている。 【思】図を用いて宇宙の構造と誕生を説明できる。 【態】宇宙の構造と誕生に関心を持ち意欲的に探究しようとしている。	○	○	○	5
	太陽の活動と一生 【知】太陽の活動と一生を理解し知識を身に付ける。 【思】図を用いて太陽の活動と一生を説明できる。 【態】太陽の活動と一生に関心を持ち意欲的に探究する。	・太陽スペクトル、太陽の構造、太陽の表面や外層で起こる現象、太陽の誕生から死、恒星の一生 ・授業プリントと教科書 ・ICTの活用、実験	【知】太陽の活動と一生を理解し知識を身に付けている。 【思】図を用いて太陽の活動と一生を説明できる。 【態】太陽の活動と一生に関心を持ち意欲的に探究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	太陽系の天体・地球の誕生 【知】太陽系の天体・地球の誕生を理解し知識を身に付ける。 【思】図を用いて太陽系の天体・地球の誕生を説明できる。 【態】太陽系の天体・地球の誕生に関心を持ち意欲的に探究する。	・太陽系を構成する天体、太陽系の誕生過程、地球型惑星と木星型惑星、生命が存在する条件、原始地球の進化 ・授業プリントと教科書 ・ICTの活用	【知】太陽系の天体・地球の誕生を理解し知識を身に付けている。 【思】図を用いて太陽系の天体・地球の誕生を説明できる。 【態】太陽系の天体・地球の誕生に関心を持ち意欲的に探究しようとしている。	○	○	○	8
	地球の形と大きさ 【知】地球の形と大きさを理解し知識を身に付ける。 【思】図を用いて地球の形と大きさを説明できる。 【態】地球の形と大きさに関心を持ち意欲的に探究する。	・地球の形、エラトステネスの方法、地球楕円体、地球の起伏 ・授業プリントと教科書 ・ICTの活用、実験	【知】地球の形と大きさを理解し知識を身に付けている。 【思】図を用いて地球の形と大きさを説明できる。 【態】地球の形と大きさに関心を持ち意欲的に探究しようとしている。	○	○	○	7
	定期考査と1学期のまとめ			○	○		3
2 学 期	地球の構造とプレート 【知】地球の構造とプレートを理解し知識を身に付ける。 【思】図を用いて地球の構造とプレートを説明できる。 【態】地球の構造とプレートに関心を持ち意欲的に探究する。	・地球内部の層構造、物質による区分と硬さによる区分、プレートの分布と動き、プレートの境界と地形、プレートの境界で発生する現象 ・授業プリントと教科書 ・ICTの活用	【知】地球の構造とプレートを理解し知識を身に付けている。 【思】図を用いて地球の構造とプレートを説明できる。 【態】地球の構造とプレートに関心を持ち意欲的に探究しようとしている。				8
	火山活動と火成岩 【知】火山活動と火成岩を理解し知識を身に付ける。 【思】図を用いて火山活動と火成岩を説明できる。 【態】火山活動と火成岩に関心を持ち意欲的に探究する。	・火山の分布、火山の形成とマグマ、火山の噴火のしくみと火山噴出物、火成岩の形成と組織、火成岩の分類 ・授業プリントと教科書 ・ICTの活用、実験	【知】火山活動と火成岩を理解し知識を身に付けている。 【思】図を用いて火山活動と火成岩を説明できる。 【態】火山活動と火成岩に関心を持ち意欲的に探究しようとしている。				5
	定期考査			○	○		1
	地震と変動地形 【知】地震と変動地形を理解し知識を身に付ける。 【思】図を用いて地震と変動地形を説明できる。 【態】地震と変動地形に関心を持ち意欲的に探究する。	・地震の発生と分布、地震波の伝わり方、震源の決定、日本付近で発生する地震、変動地形 ・授業プリントと教科書 ・ICTの活用、実験	【知】地震と変動地形を理解し知識を身に付けている。 【思】図を用いて地震と変動地形を説明できる。 【態】地震と変動地形に関心を持ち意欲的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	堆積作用と地層 【知】堆積作用と地層を理解し知識を身に付ける。 【思】図を用いて堆積作用と地層を説明できる。 【態】堆積作用と地層に関心を持ち意欲的に探究する。	・流水のはたらき、地層の形成と堆積構造、化石のつき方、堆積岩の分類 ・授業プリントと教科書 ・ICTの活用、実験	【知】堆積作用と地層を理解し知識を身に付けている。 【思】図を用いて堆積作用と地層を説明できる。 【態】堆積作用と地層に関心を持ち意欲的に探究しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査と2学期のまとめ			○	○		3

3 学 期	<p>大気と地球全体の熱収支</p> <p>【知】大気と地球全体の熱収支を理解し知識を身に付ける。</p> <p>【思】図を用いて大気と地球全体の熱収支を説明できる。</p> <p>【態】大気と地球全体の熱収支に関心を持ち意欲的に探究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大気の組成と圧力、大気圏の構造、太陽放射と地球放射、地球全体の熱収支 ・授業プリントと教科書 ・ICTの活用 	<p>【知】大気と地球全体の熱収支を理解し知識を身に付けている。</p> <p>【思】図を用いて大気と地球全体の熱収支を説明できる。</p> <p>【態】大気と地球全体の熱収支に関心を持ち意欲的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>大気と海水の大循環</p> <p>【知】大気と海水の大循環を理解し知識を身に付ける。</p> <p>【思】図を用いて大気と海水の大循環を説明できる。</p> <p>【態】大気と海水の大循環に関心を持ち意欲的に探究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・雲の発生と降水のしくみ、大気と海水の大循環 ・授業プリントと教科書 ・ICTの活用、実験 	<p>【知】大気と海水の大循環を理解し知識を身に付けている。</p> <p>【思】図を用いて大気と海水の大循環を説明できる。</p> <p>【態】大気と海水の大循環に関心を持ち意欲的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>地球の環境</p> <p>【知】地球の環境を理解し知識を身に付ける。</p> <p>【思】図を用いて地球の環境を説明できる。</p> <p>【態】地球の環境に関心を持ち意欲的に探究する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題、日本の自然環境 ・授業プリントと教科書 ・ICTの活用、実験 	<p>【知】地球の環境を理解し知識を身に付けている。</p> <p>【思】図を用いて地球の環境を説明できる。</p> <p>【態】地球の環境に関心を持ち意欲的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>定期考査と3学期のまとめ</p>			○	○		2
						合計	78

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 A 組～ 組
 教科担当者： (A組：箕輪) (組：) (組：) (組：) (組：) (組：)
 使用教科書： (VISTA English Communication I (三省堂))

教科 外国語 の目標：
【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕						
Get Ready!-1~4 ●中学までに学習した「アルファベット」「単語の書き方」「辞書の引き方」「教室での英語の使用」について、イラストなどを参考にして、理解することができる。また、言語活動へつなげることができる。	Get Ready!-1~4					【知識・技能】 中学までに学習した「アルファベット」「単語の書き方」「辞書の引き方」「教室での英語の使用」を理解している。 【思考・判断・表現】 ●聞：英語を正確に聞いて、どの絵を指しているのかを聞き取っている。 ●読：基本的な単語の意味を正確に理解している。 ●話〔や〕：相手に理解してもらえるような発音で、基本的な単語の発声、発音英語の対話をしている。 ●書：読み手にわかりやすい適切な表現（文字・綴り）を用いて、正しく書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●聞：英語を正確に聞いて、どの絵を指しているのかを聞き取ろうとしている。 ●読：基本的な単語の意味を正確に理解しようとしている。 ●話〔や〕：相手に理解してもらえるような発音で、基本的な単語の発声、発音英語の対話をしている。 ●書：読み手にわかりやすい適切な表現（文字・綴り）を用いて、正しく書こうとしている。					4
LESSON 1: Colors of Spring ●春について、理解して考えを深めることができる。 ●色/春についてやりとりができる。	LESSON 1: Colors of Spring					【知識・技能】 be動詞・一般動詞の現在形に関する事項を理解している。 ●聞：春について、be動詞・一般動詞の現在形に注意しながら、内容を聞き取る技能を身に付けている。 ●読：春について、be動詞・一般動詞の現在形に注意しながら、内容を読み取る技能を身に付けている。 ●話〔や〕：色/春について、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ●聞：春についての概要や要点、必要な情報を、聞き取って捉えている。 ●読：春について、理解を深めるために、対話を読み取り、概要や要点を把握している。 ●話〔や〕：色/春について、基本的な語句や文を用いて、考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●聞：春についての概要や要点、必要な情報を、主体的に聞き取って捉えようとしている。 ●読：春について、理解を深めるために、対話を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 ●話〔や〕：色/春について、基本的な語句や文を用いて、主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしている。					9
	定期考査									1	
LESSON 2: Dick Bruna ●ディック・ブルーナさんについて、理解して考えを深めることができる。 ●キャラクター/本についてやりとりができる。	LESSON 2: Dick Bruna					【知識・技能】 be動詞・一般動詞の過去形に関する事項を理解している。 ●聞：ディック・ブルーナさんについて、be動詞・一般動詞の過去形に注意しながら、内容を聞き取る技能を身に付けている。 ●読：ディック・ブルーナさんについて、be動詞・一般動詞の過去形に注意しながら、内容を聞き取る技能を身に付けている。 ●話〔や〕：キャラクター/本について、与えられたフォーマットを参考に自分の考えを話して伝え合う技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ●聞：ディック・ブルーナさんについての概要や要点、必要な情報を、聞き取って捉えている。 ●読：ディック・ブルーナさんについて、理解を深めるために、対話を読み取り、概要や要点を把握している。 ●話〔や〕：キャラクター/本について、基本的な語句や文を用いて、考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ●聞：ディック・ブルーナさんについての概要や要点、必要な情報を、主体的に聞き取って捉えようとしている。 ●読：ディック・ブルーナさんについて、理解を深めるために、対話を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。 ●話〔や〕：キャラクター/本について、基本的な語句や文を用いて、主体的に考えを話して伝えたり、相手からの質問に答えようとしている。					12
	定期考査									1	

1 学期

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 組～組

教科担当者：（A組：尾高、松澤（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（現代高等保健体育）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能および健康・安全について理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたって継続して運動に親しむとともに、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かにし継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、後世に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人ひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 体づくり運動 【知識及び技能】手軽な運動を行い、心と身体は互いに影響し変化することを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたって運動を豊かにし継続するための課題を発見することができる。 【学びに向かう力、人間性等】互いに助け合おうとすること、一人ひとりの違いに応じた動きを大切にすることができる。	○体づくり運動 ・体幹トレーニング ・ストレッチ ・筋力トレーニング	【知識・技能】自己のねらいに応じて、効果的な成果を得るための運動の行い方について言ったり書きだしたりしている。 【思考・判断・表現】生活様式や体力の程度を踏まえ、自己のねらいに応じた運動の計画を立案している。 【主体的に学習に取り組む態度】体づくり運動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	B 卓球 【知識及び技能】ラリーの中で状況に応じて打ち返す位置を変化させたり、相手の打った球に応じて適切に打ち返すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【学びに向かう力、人間性等】相手を思いやり、相手のペースに合わせた球を返すことができる。	○卓球 ・ラケット操作 ・打ち方の指導 ・ルールについて ・スキルテスト ・ゲーム	【知識・技能】球を相手側のコートの守備のいない空間に強弱や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】自己の課題を見つけ、改善するための練習の計画を立てている。 【主体的に学習に取り組む態度】学習に主体的に取り組もうとしているとともに、相手を思いやる行動をしている。	○	○	○	9
	C バドミントン 【知識及び技能】状況に応じたラケット操作によって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】球技に主体的に取り組むとともにフェアなプレイを大切にしようとする。	○バドミントン ・ラケット操作 ・打ち方の指導 ・ルールについて ・スキルテスト ・ゲーム	【知識・技能】シャトルを相手側のコートの守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】仲間や自己の課題を解決するための練習の計画を立てている。 【主体的に学習に取り組む態度】学習に主体的に取り組もうとしているとともに、フェアなプレイを大切にしようとしている。	○	○	○	9
	D 体育理論 【知識及び技能】スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】主体的、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】生涯を通してスポーツを継続するとともに明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	○体育理論 ・文化としてのスポーツ ・スポーツにおける技能と体力	【知識・技能】生涯を通じたスポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】自他や社会の課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。 【主体的に学習に取り組む態度】運動の主体的、合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。	○			4

2 学 期	E バレーボール 【知識及び技能】勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなど多様な楽しさや喜びを味わうことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】チームや自己の課題を発見し、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとすることや互いに助け合い高め合おうとすることができるようにする。	○バレーボール ・バスの種類について ・サーブについて ・ルールについて ・スキルテスト ・ゲーム	【知識・技能】仲間と運動してネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。 【思考・判断・表現】チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 【主体的に学習に取り組む態度】作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。	○	○	○	9
	F テニス 【知識及び技能】ラリーの中で状況に応じて打ち返す位置を変化させたり、相手の打った球に応じて適切に打ち返すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間とともに球技を楽しむための調整の仕方を見付けている。 【学びに向かう力、人間性等】相手を思いやり、相手のペースに合わせた球を返すことができる。	○テニス ・ラケット操作 ・打ち方の指導 ・ルールについて ・スキルテスト ・ゲーム	【知識・技能】球を相手側のコートの手前のいない空間に強弱や高低などの変化をつけて打ち返すことができる。 【思考・判断・表現】自己の課題を見つけ、改善するための練習の計画を立てている。 【主体的に学習に取り組む態度】学習に主体的に取り組もうとするとともに、相手を思いやる行動をしている。	○	○	○	10
	G バasketボール 【知識及び技能】チームや自己の課題を解決したり勝敗を競ったりするなど仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】パスやシュートの種類について理解を深め、その場に適した状況判断をしている。 【学びに向かう力、人間性等】仲間の良さを認め、フェアなプレイを大切にしようとしている。	○Basketボール ・パス、シュートの種類について ・ルールについて ・スキルテスト ・ゲーム	【知識・技能】味方が取りやすいパスを出したり、空間に走りこんだりして得点につながる動きをしている。 【思考・判断・表現】適切な状況判断をするために、仲間の動きや相手の動きをよく見て考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】チームに貢献し、フェアなプレイを大切にしようとしている。	○	○	○	10
3 学 期	H 持久走 【知識及び技能】自己に適したペースを維持して後半まで走り続けることができる。 【思考力、判断力、表現力等】呼吸を楽にしたり、走りのリズムをつくったりする呼吸法を言ったり書きだしたりできる。 【学びに向かう力、人間性等】仲間と声をかけ、鼓舞することができる。	○持久走 ・15分間走 ・タイムトライアル	【知識・技能】自己に適したペースを見つけるとともに、走り方を工夫し最後まで継続することができる。 【思考・判断・表現】走り方や呼吸の仕方について理解を深め、言ったり書きだしたりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】仲間と励まし合いながら授業に取り組むことができる。	○	○	○	10
	I アルティメット 【知識及び技能】ディスクの扱いに慣れ、自分の投げたいところに投げることができる。 【思考力、判断力、表現力等】パスの名称を覚えるとともに、ルールや名称について言ったり書きだしたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】互いに助言し合うなど、相手を思いやる行動をしている。	○アルティメット ・ディスクの持ち方について ・ルールについて ・スキルテスト ・ゲーム	【知識・技能】状況に応じてパスを使い分け、空間に走りこむなどして得点につながる動きをしている。 【思考・判断・表現】ルールを正しく理解したうえで状況判断をしながらプレーしている。 【主体的に学習に取り組む態度】仲間と助言するなど協力的に行動し、フェアなプレイを大切にしている。	○	○	○	9
							合計
							78

令和7年度「総合的な探究の時間」の全体計画

1 「総合的な探究の時間」の校内での名称 (実施学年ごとに記入する)

第1学年『人間と社会』 第2学年『総合 (探究)』
第3学年『総合 (探究)』 第4学年『総合 (探究)』

2 学校の教育目標

- ① 学問を愛し、真理を探究する精神を養い、生涯を通し知性の向上に努めさせる。
- ② 情操を養い、明朗で清純な品性と礼節ある態度を培う。
- ③ 正義と平和を愛し、心身ともに健全で実行力のある人間を育成する。
- ④ 個性を伸ばし、自主的精神を培うとともに、自己の社会性を自覚させる。

3 各学校において定める「総合的な探究の時間」の目標

- ① 探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通してよりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成することを目指す。
- ② 学び方や考え方を身に付け、問題の解決や探究活動に創造的に取り組む態度を育て、己の在り方・生き方を考える。

4 生徒・学校・地域の実態

- ① 本校在校生は、義務教育期の不登校経験者が多い。だからこそ学び方やものの考え方を身に付け、主体的創造的に取り組む姿勢やコミュニケーション能力を育みたいと願っている。
- ② 地域・保護者は、本校を丁寧な生活指導を実施する学校と認知し、入学後は心身ともに健康で望ましい生活習慣を育成して欲しいと願っている。

5 指導体制 (実施学年ごとに記入する)

- ① 週時程への位置付け方 (曜日・校時) 及び授業時間数、単位数

1 学年	金曜日・3校時	1 単位時間45分とし、39単位時間
2 学年	金曜日・3校時	1 単位時間45分とし、39単位時間
3 学年	金曜日・3校時	1 単位時間45分とし、39単位時間
4 学年	金曜日・3校時	1 単位時間45分とし、39単位時間
- ② 授業時間確保の方法 特定の期間に集中して実施しない。
- ③ 校内の指導組織
 - 1 学年2人、2 学年1人、3 学年1人、4 学年2人、計6人の専任教員で担当する。
- ④ 学習の評価
 - 1 学年 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになったか。
 - 2 学年 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになったか。
 - 3 学年 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになったか。
 - 4 学年 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見出し、自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようになったか。
- ⑤ 評価方法
 - 1 年 出席・意欲・取り組み・レポート・発表など総合的に評価する。
 - 2 年 出席・意欲・取り組み・レポート・発表など総合的に評価する。
 - 3 年 出席・意欲・取り組み・レポート・発表など総合的に評価する。
 - 4 年 出席・意欲・取り組み・レポート・発表など総合的に評価する。

6 育てようとする資質や能力及び態度

- ① 基礎基本を重視し、学び方やものの考え方を習得することを通して社会の状況に応じてその力を活用する。
- ② 横断的探究的学習を通して、自己の在り方生き方を考えることができるようにする。
- ③ 自分で課題を設定し、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。

7 内容（学習対象、学習事項）（実施学年ごとに記入する）

- ① 『人間と社会』第1学年
 - 自ら課題を設定し、それに対し調査・研究を行う横断的・総合的な講座
- ② 『総合（探究）』第2学年
 - 1学年時に探究した課題を踏まえて、その内容を発展させ調査・研究を行う横断的・総合的な講座
- ③ 『総合（探究）』第3学年
 - 2学年時に探究した課題を踏まえて、その内容を発展させ調査・研究を行う横断的・総合的な講座
- ④ 『総合（探究）』第4学年
 - 3学年時に探究した課題を踏まえて、その内容を発展させ調査・研究を行う横断的・総合的な講座
- ① 学習事項
 - 興味関心を見出し、進路に応じた課題に取り組み、自ら学び考える資質や能力を育む。

8 学習活動

- ① 第1学年『人間と社会』

自ら課題を設定し、それについて調査・研究を行っていく。また学校近隣の地域と連携した「奉仕体験活動」を実施し人間と社会について理解を深化させる。
- ② 第2、3、4学年『総合（探究）』

生徒自身が課題を設定し、それについて調査・研究を行っていく。また進路について考えることや、職業について考えるために横断的・総合的な講座に取り組み、自己の在り方・生き方を探究する。

9 指導方法

協働的な学習の充実を図り、個に応じた指導ができるように少人数構成にしている。

10 各教科等との関連

- ① 各科目・教科との連携を図るために教務部担当者及び副校長を中心に進度・学習内容の連絡会を継続的に実施する。
- ② 定期的に検証を加え授業力向上の校内研修を実施する。

11 外部との連携

- ① 本校ホームページ、Twitter等を活用して地域・保護者に広報し、年間2回の授業参観及び研究協議会を実施する。
- ② 城北中央公園管理センターとの連携を図る。

令和7年度「総合的な探究の時間」の年間指導計画

(1学年)

1 単位時間の時間 (45) 分 『人間と社会』

学期	月	指導項目	指導内容	評価計画	配当時間	
1	4	事前指導	講座内容・評価方法の説明	出席、意欲などを総合的に評価	2	
	5	課題設定	自己の課題を考え、取り組む課題を設定させる。		(3) 体験	
		環境保全に関する知識を広げよう	学習活動の企画と諸注意をしたうえで、奉仕活動である地域清掃を行う。地域清掃は、城北中央公園管理センターと協議・協力して実施。社会貢献について考える。			(4) 体験
		6	・奉仕体験活動 <学校周辺区域の清掃活動>			
7	本校周辺及び都立城北中央公園(花の広場、リンゴ広場、クローバー広場)を中心とした清掃活動を行う。					
2	9	地域社会とのつながりについて探究しよう	第14章 自然と人間との関り ・学校の活動の中で、自然保護や環境保護につながっていることを考える。また考えた活動を実践する。	出席、意欲、取り組みなどを総合的に評価	3	
	10				3	
	11		第16章 文化の多様性 ・身近な地域には様々な文化をもつ外国人が東京に集まっていることについて学ぶ。また異なる文化をもつ人々と生きていくためには、どのようなことが大切であるかを考える。		4	
	12		・奉仕体験活動 <学校周辺区域の清掃活動> 本校周辺及び都立城北中央公園(花の広場、リンゴ広場、クローバー広場)を中心とした清掃活動を行う。		(6) 体験	
3	1	地域社会にどのように貢献できるか考えよう	環境保全や地域社会について探究したことをふまえて、研究論文の作成及び発表を行う。	出席、意欲、取り組みなどを総合的に評価	4	
	2	研究発表	振り返りを行い、自己の取り組みの確認を行う。		4	
	3	振り返り	一年間の取り組みをまとめ、次の課題を設定する。		3	
配当時間数の合計					39	